

調布の

清掃作業員さんに聞きました!

part4



ビンのリサイクルに情熱を傾ける若林さんです。体力を使う仕事なので、体調管理にはいつも気を付けているそうです! それではお話を聞いてみましょう(^)/

ビンのリサイクル事業者の方にインタビュー

市内のご家庭から出される飲み物や調味料などのビン。収集されたビンは、クリーンセンターに集められ、大型車両に積みかえて、東京都青梅市にあるリサイクル施設に搬送しています。今回は、このビンを受け入れ、選別・リサイクル作業を行っている「株式会社若林商店」の若林さんにお話を聞きました。

どういった作業ですか?
調布市で回収されたビンを、リサイクルを目的とした「無色」「茶色」など色ごとの分別や、洗って再利用(リユース)される生きビン(リターナブルビン)の選別を行い、それぞれ次の処理に向けて工場等へ引き渡しています。

作業をしていて特に大変なことは何ですか?
再利用に適していて、環境にもやさしいリターナブルビンは、傷が付いたり割れたりすると価値がなくなってしまいます。そのため、ビン運ぶ時やコンテナから出す際に細心の注意を払いながら作業にあたっています。



コロナ禍の影響を感じますか?
コロナ禍前と比較して、1~2割ほどビンの量が増えており、巣ごもりや家飲みが定着した影響を感じます。

ビンの魅力って何ですか?
ビンはリサイクルの優等生なんです。原料は国内でまかなえ、リユースにも適しており環境負荷が少ない。また、100%天然素材であり、有害物の心配がない。さらに、ビンからビンへのリサイクルを行うことで、半永久的に資源を有効活用することができます。こうした魅力を、どうやって皆さんに伝えていくかが課題だと思っています。



若林さんが日頃、ごみ減量のために心掛けていることを教えてください。
何かを買う時の基準に、不要となったその後のことを考えています。多少金額が高くても、リユースやリサイクルに向いていそうな形状や素材のものをを選び、長い目で見て、自分なりに3Rを推進していこうと考え、実践しています。

最後に、ビンを出す際に皆さんに気を付けて欲しいことがあれば教えてください。
ビンを出す時には、きちんと洗う・異物は取り除くなど、基本的なことを守って実践していただくことが、環境保全につながっていきます。ぜひ、ご協力をお願いします。



作業中の様子

調布市ふるさとのみどりと環境を守り育てる基金のご紹介



この基金は、募金や寄附のほか、市民の皆様の具体的な環境行動の成果であるごみの分別や、徹底した粗大ごみの解体によって取り出した**資源物の売り払い代金**などを積み立てています。

積み立てた基金は、緑の公有化や緑化・地球温暖化対策・環境学習のほか、地域集団回収事業奨励金やごみリサイクルカレンダー作製・配布などの経費に活用されています。

市内の将来世代へ残すべき「みどり」と「環境」を守るため、より一層のごみ分別にご協力をお願いします!



圧縮・成形されたアルミ缶



粗大ごみ解体の様子

基金のイメージ

募金・寄附、資源物の売り払い代金

積立・運用

地域集団回収事業奨励金やごみリサイクルカレンダー・緑の公有化や緑化・地球温暖化対策・環境学習経費への活用

